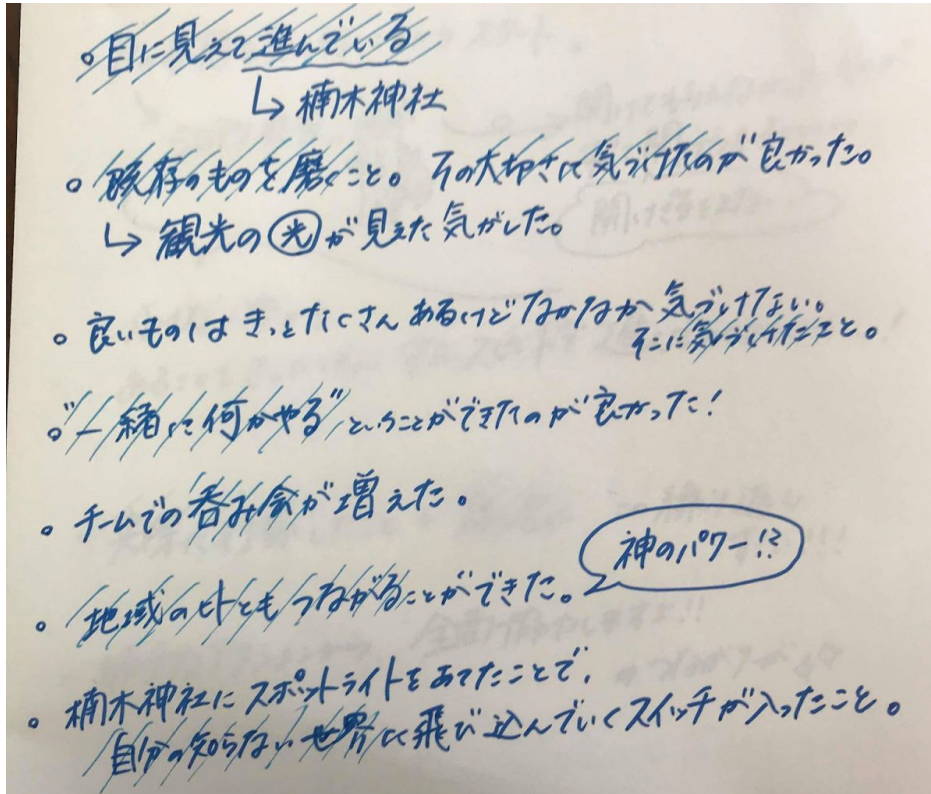


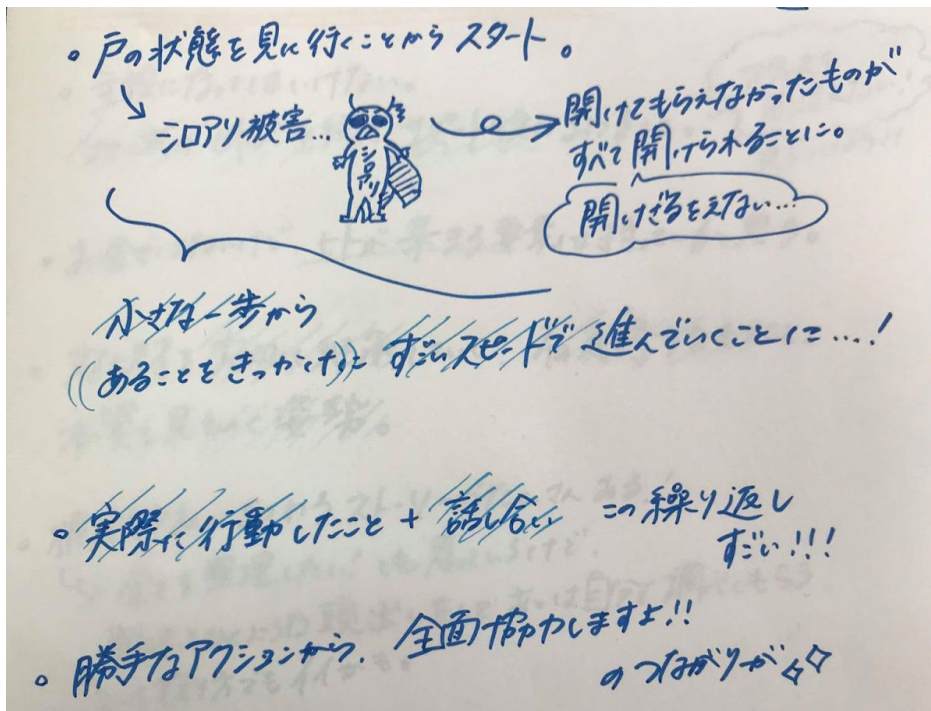
※第6回開催レポート 補足資料 (さつま町観光未来研究室)

●楠神社チーム

①この半年間で得られたもの (さつま町観光未来研究室全体を通して得られたものは?)



②最初の一步を踏みだそうとした/踏み出してみた感じた手応え (実際にチームとして踏み出してみて感じた手応えは?)



③これから踏み出し続けるうえで、大切にしたいこと（これからもチームとしての取り組みや一人ひとりの取り組みが進んでいくために、大切にしたいことは？）

◦ 主役にならなくていい。  
 地域が主役で、サポート役にまわること。 スチラスを間違えない！  
気をつけよう！！

◦ お金ではないが、ヒトが果敢要素は持っていると思う。

◦ 文化財を大切に継承していく、石の気持ちをもつこと。  
本質を見つめる姿勢。

◦ 楠木神社にまつわるストーリーがたまたまある。  
 ↳ 全てを整理したい！と思ってるけど、  
 興味をよぶと頭出しをいかに自分で調べとらう。  
 どの方法もイイかも。

◦ 中のヒトだけでなく、外のヒトに関わることも大切かも。

◦ 順番を間違えず、根回しも意識を。

◦ 喜ばせることは難しいけどはたして... シンプルなこと??  
 ↳ 楠木神社でいえば、清掃にキレにたつたことロ  
 ンのかも。

④来年度以降への提案やメッセージ（来年度以降の関わりについて、どんな期待ができるだろうか？／今年度の受講生の皆さんがさつま町観光未来研究室の1期生だとしたら、2期生以降の皆さんに伝えたいことや届けたいメッセージは何でしょう？）

◦ <sup>(団体)</sup> やることに3人がちゃんと連携すること

◦ 1日に3Hでキツイ...  
 短箱して、効率あげていかなきゃ難しいと思う  
 ↳ 幅が広がる(応用)のことは??

◦ やる団体同士の情報共有がうまくいっていない。

月曜の朝一に情報共有しよう!! という案も  
 以前出たけど...

↳ 直接的に集まらずとも  
 活かしていることや  
 共有される仕組みを。



## ●広げるチーム

①この半年間で得られたもの（さつま町観光未来研究室全体を通して得られたものは？）

- 友だちが増えた
- 地域の課題が見えた
- みんなの思いが聞けた  
(身頃聞けた)
- SNSを使って意見交換・共有  
できた。
- 課題をひも解いて議論する場と  
なった。
- 方向性・具体性が得沁つある
- 新たなコミュニティができた。
- 異業種・異年齢が集まる機会

②最初の一步を踏みだそうとした／踏み出してみた感じた手応え（実際にチームとして踏み出してみても感じた手応えは？）

- 想像どおりの結果（アハート）
- 課題が見えた。
- ち、かけともとあてている答之がある  
つなげてあげる必要がある。
- できる範囲で。

③これから踏み出し続けるうえで、大切にしたいこと（これからもチームとしての取り組みや一人ひとりの取り組みが進んでいくために、大切にしたいことは？）

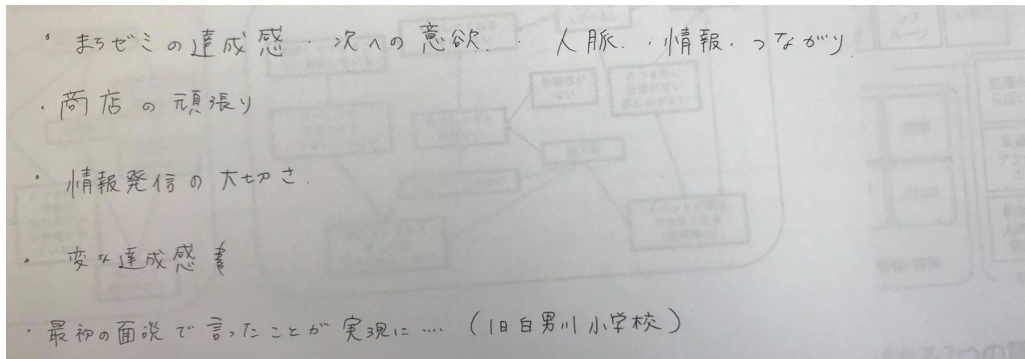
- ・ 続けること。(少しずつ高の積み上げ)
- ・ 人のつき合い。
- ・ 個々の思いを聞く。
- ・ 場がある
- ・ 広がりへ期待。
- ・ つながり重視 (同窓会的)
- ・ ~~永山さんの存在~~  
(コーディネーター的)
- ・ ベクトル

④来年度以降への提案やメッセージ（来年度以降の関わりについて、どんな期待ができるだろうか？／今年度の受講生の皆さんがさつま町観光未来研究室の1期生だとしたら、2期生以降の皆さんに伝えたいことや届けたいメッセージは何でしょう？）

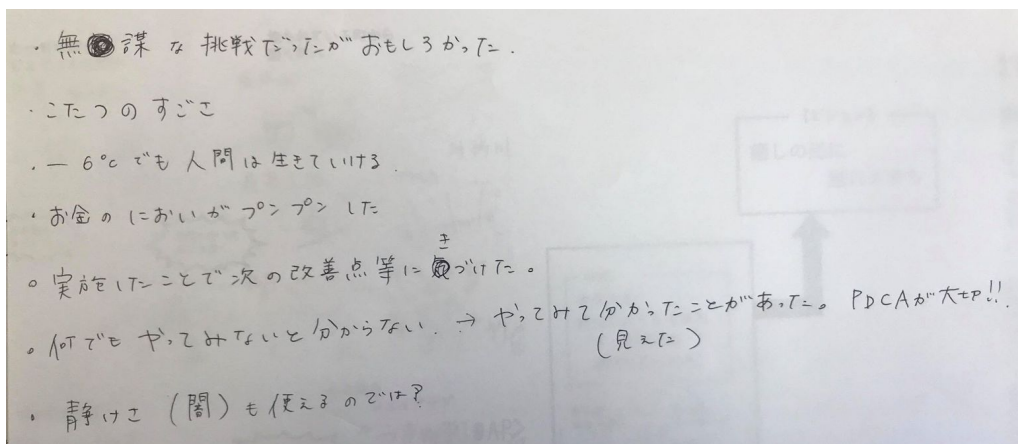
- ・ 継続
- ・ 参加(ほう) (反省も含めて)
- ・ 拠点となる施設があれば  
場所を変えながらやってみる。  
+ 地元の話人の話を聞いてみる
- ・ 話を聞く機会 (成功事例)  
(今年度につなげて)

## ●生まれるチーム

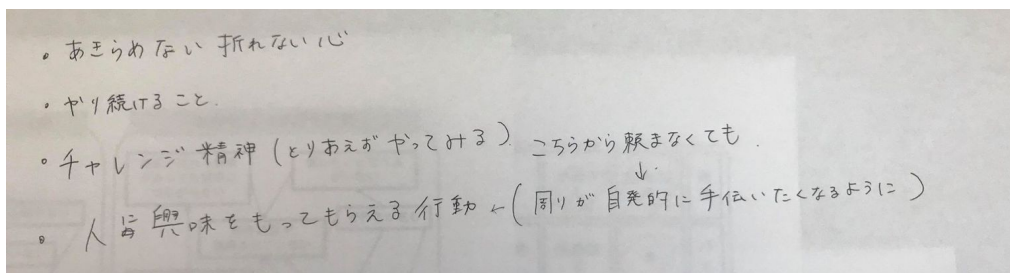
①この半年間で得られたもの（さつま町観光未来研究室全体を通して得られたものは？）



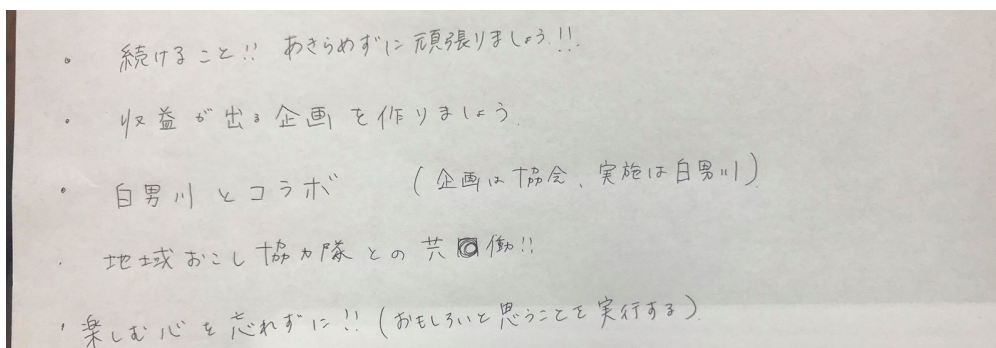
②最初の一步を踏みだそうとした／踏み出してみた感じた手応え（実際にチームとして踏み出してみて感じた手応えは？）



③これから踏み出し続けるうえで、大切にしたいこと（これからもチームとしての取り組みや一人ひとりの取り組みが進んでいくために、大切にしたいことは？）



④来年度以降への提案やメッセージ（来年度以降の関わりについて、どんな期待ができるだろうか？／今年度の受講生の皆さんがさつま町観光未来研究室の1期生だとしたら、2期生以降の皆さんに伝えたいことや届けたいメッセージは何でしょう？）





## ●つながるチーム

①この半年間で得られたもの（さつま町観光未来研究室全体を通して得られたものは？）

- ・ グループワークの手法に慣れることができた (ex. 1分スピーチ、紙に書く...)
- ・ 町外に住んでいるため、この会に参加するまでさつま町を知らなかったが、「知りたい」と思うようになった。
- ・ 顔見知りではあるが話した事もない人も多く、この会でつながりを持つことができた。

②最初の一步を踏みだそうとした／踏み出してみた感じた手応え（実際にチームとして踏み出してみて感じた手応えは？）

### 《最初の一步の手応え》

- ・ 踏み出したのか?? (場所は決めた)
- ・ 「使える場所」としての周知はできていないのでは?
- ・ 課題(見えてきた)どう解決する?
- ・ 手応えが「あるようでないような...

- ・ 会社外に友だちが出来た。
- ・ つながりが出来て、イベントが開催できた。
- ・ 町のイベントにも参加するようになった。
- ・ 鉄道記念館2Fに使われていない部屋がある事を知った!

③これから踏み出し続けるうえで、大切にしたいこと（これからもチームとしての取り組みや一人ひとりの取り組みが進んでいくために、大切にしたいことは？）

・1人1人が責任感を持って協力するこの重要性。

・目的を見失わないようにしたい！

↳ つながる場所づくり

↓  
事業者のマッチング。(ツアー、イベント化 etc...)

↓  
観光特産品協会の新たなステージへ！

・他のチームとのコラボをそうそうやりたくな。

・ウェブ予約など、会議室を使えるようにしたい。→柔軟な運用。

④来年度以降への提案やメッセージ（来年度以降の関わりについて、どんな期待ができるだろうか？／今年度の受講生の皆さんがさつま町観光未来研究室の1期生だとしたら、2期生以降の皆さんに伝えたいことや届けたいメッセージは何でしょう？）

・既存組織・類似組織との融合が図れるか？

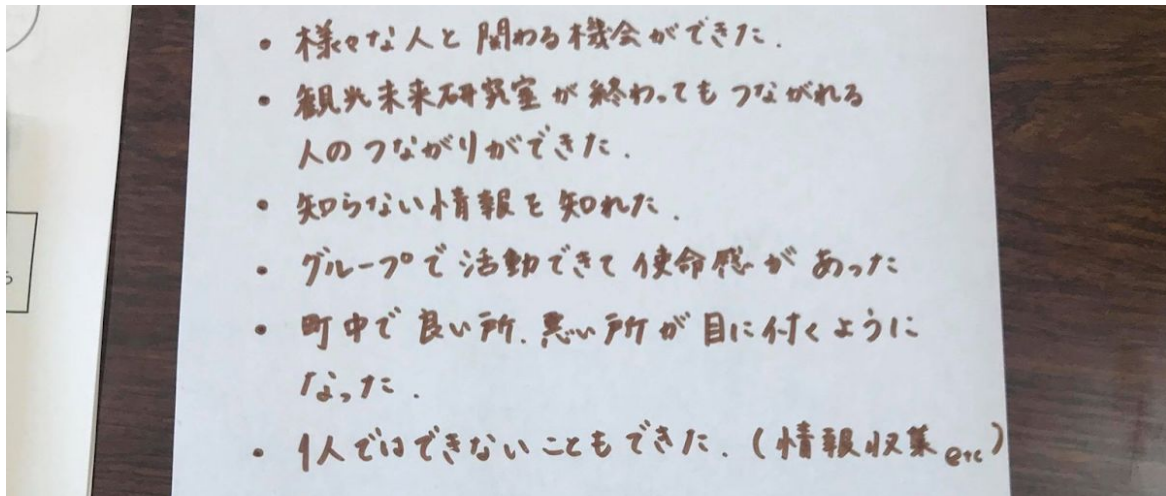
・今年度協議したみんなの熱意は大勢にして欲しい！

・ちゃんと動くなら月1ミーティングは必要では？

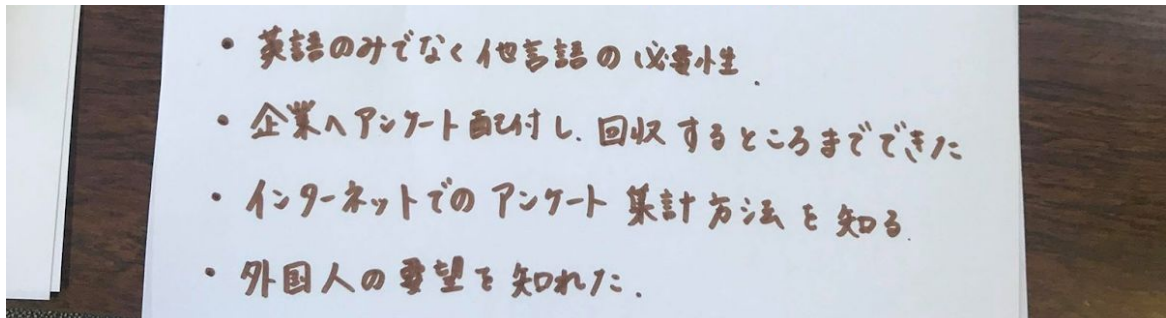


## ●つなげるチーム

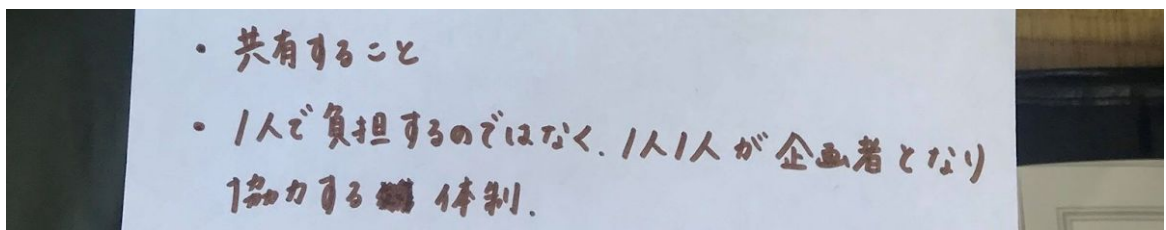
①この半年間で得られたもの（さつま町観光未来研究室全体を通して得られたものは？）



②最初の一步を踏みだそうとした／踏み出してみた感じた手応え（実際にチームとして踏み出してみても感じた手応えは？）



③これから踏み出し続けるうえで、大切にしたいこと（これからもチームとしての取り組みや一人ひとりの取り組みが進んでいくために、大切にしたいことは？）



④来年度以降への提案やメッセージ（来年度以降の関わりについて、どんな期待ができるだろうか？／今年度の受講生の皆さんがさつま町観光未来研究室の1期生だとしたら、2期生以降の皆さんに伝えたいことや届けたいメッセージは何でしょう？）

